

東北初の受賞！市民の声で制度を変える！
『地方分権改革推進MVP』を受賞しました



ターゲット 17.17

令和2年6月17日
郡山市政策開発部政策開発課
担当：遠藤 麻由美
TEL：924-2021

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

市民の皆さんの声で国の制度を変える「住民参加型ワークショップを活用した提案」の取り組みが認められ、東北初の『地方分権改革推進MVP』を受賞しました。

1 受賞理由（内閣府地方分権推進室のコメント）

地域の身近な課題を解決するため、地域住民などによる「住民参加型ワークショップ」を実施し提案を行っており、他の地方公共団体が提案を掘り起こす上で模範的な取組である。

2 2019年度 全国のMVP受賞対象者

郡山市：「住民参加型ワークショップを活用した提案」

高知県：「県内外の地方公共団体との積極的な調整に基づく共同提案」

船橋市：「綿密なデータ分析による提案」

3 これまでの本市の取組み（地域づくりワークショップ）：2017年度～2018年度実施

地域課題の解決手法を学び、地方分権提案募集方式を通じた住民サービスの向上を目指すワークショップを開催。内閣府地方分権推進室の参事官及び参事官補佐らを講師として招き、こおりやま広域圏内住民、事業者、学生、自治体職員など約40～70名が参加した。

郡山市
地方分権ページ URL https://www.city.koriyama.lg.jp/shiseijoho/shisaku_keikaku/24275.html



内閣府
地方分権改革推進MVP
ページ URL <https://www.cao.go.jp/bunken-suishin/shinpokaisai/shimpokaisai6.html>



ワークショップの様子



参加者全員で記念写真



品川市長

<地方分権提案募集方式>

国は2014年度から地方の提案で国の制度が変わられる仕組みとして『提案募集方式』を導入しています。「地域の実情に合わなくなった」などの国の制度に対し、自治体から制度改善等の提案を募集し、制度の見直し等を行い、地域の課題解決や住民サービスの向上等を推進するものです。

<地方分権改革推進MVP>

地方分権改革に関する提案募集において、地域の実情を踏まえた独自の工夫に努め、他の地方公共団体等の模範となるような功労が認められた者に授与するもの。